

2013 年度全学共通カリキュラム「社会学への招待 1」

<都市から考える社会学>

火・4限 (15:00-16:30)

8202

松本康

■授業の目標

都市化とコミュニティの変容について社会学の視点から理解する。

■授業の内容

都市化がコミュニティに及ぼす影響に関する研究を、背景となる都市そのものの変化に目を配りながら、学説史的に取り上げるとともに、近年のグローバル化・情報化にともなう都市再編が都市生活にとってもつ意味について考える。

■授業計画

- 4/16 1. イントロダクション
- 4/23 2. シカゴの成長
- 4/30 3. シカゴ社会学
- 5/7 4. 同心円地帯理論 (都市生態学)
- 5/14 5. シカゴモノグラフ
- 5/21 6. 生活様式としてのアーバニズム
- 5/28 7. アーバニズム理論批判
- 6/4 8. アーバニズムの下位文化理論
- 6/11 9. アーバニズムと社会的ネットワーク
- 6/18 10. 都市圏の発展段階
- 6/25 11. 情報化・グローバル化と都市再編
- 7/2 12. 都市政策と市民参加・市民協働：三鷹市
- 7/9 13. 内発的発展と創造都市：横浜市
- 7/16 14. グローバル都市の二重構造：六本木

■成績評価方法・基準

筆記試験 100 %

■テキスト

高橋勇悦監修『改訂版 21世紀の都市社会学』(学文社、2008年、2400円+税)

テキストは自習用です。各回との対応関係は次の通り。

- |          |             |
|----------|-------------|
| 2. 15-17 | 9. 117-127  |
| 3. 17-19 | 10. 106-109 |
| 4. 19-24 | 11. 128-141 |
| 5. 24-27 | 12. ~なし     |
| 6. 29-51 |             |
| 7. 53-58 |             |
| 8. 58-66 |             |

<http://www.rikkyo.ne.jp/web/ymatsumoto/index.html>